

豪 倉庫を一瞬で解体のはずが

5月13日7時0分



オーストラリアで、爆薬を使って巨大な倉庫を一瞬にして解体するはずが、爆薬が足りなかったために倉庫が計画どおり倒れず、一時、斜めに傾いた状態で止まってしまいました。

オーストラリア東部ブリスベンの近郊で、12日、建設から半世紀がたった巨大な穀物用の倉庫を爆破して解体する作業が行われました。

解体の専門家の指導の下、作業員たちはおよそ100キロの爆薬を設置し、近くの住民らが見守るなか、爆発させました。

これで倉庫は一瞬にして崩れ落ちるはずでしたが、計画と違って倉庫は倒れず、斜めに傾いた状態で止まってしまいました。

慌てた作業員たちは、重機を使って壁を押ししたりして、何とか倉庫を倒すことができましたが、それまでおよそ40分間、倉庫は斜めに傾いたままでした。

爆破に失敗した原因について、専門家は「爆薬が足りなかった」と説明しています。

集まっていた住民の間からは失笑が漏れ、イギリスのメディアは「まるでイタリアのピサの斜塔のよう」などと皮肉混じりに伝えました。